

① 2023 年度の環境保全活動の実施状況・結果

関西エアポート神戸株式会社では環境負荷低減に向けて以下の 3 つの方針を設定しており、それぞれの方針のもとに取り組みの指標となる具体的な項目と目標、施策を定めています。2023 年度の結果は以下のとおりとなっております。

	方針	項目・目標	実施状況・結果
1	脱炭素	BEMS を用いたエネルギー分析	空調運転状況の分析を行い、最適化を実施
2		Zero Emission Vehicle の導入	電気自動車 1 台の導入実施
3	循環経済	直営店舗で使用する備品の環境に配慮した製品の使用	使い捨てプラスチック使用の削減 ショッピングバッグの有料化
4		SAF の重要性周知・廃食油供給呼びかけ	イベントにて SAF の取り組み PR を実施
5	環境共生	航空機騒音の監視	航空機騒音監視の実施
6		トイレ洗浄水・手洗い設備の水量調整等による節水	基準を定め、全箇所調整を実施

脱炭素の取り組みとして、2022 年度に導入した BEMS (Building Energy Management System) にて、空調運転状況を細かく分析し、設定温度、熱源管理の徹底を実施した。

循環経済の取り組みとして、SAF (Sustainable Aviation Fuel: 持続可能な航空機燃料) の重要性周知・廃食油供給呼びかけを実施した。

環境共生の取り組みとして、航空機騒音の監視、ばい煙発生施設の適正管理、空港内の緑化維持を実施し、再生水・雨水利用を継続した。

環境マネジメントの取り組みとして、ACA (Airport Carbon Accreditation) Level 4 を維持し、空港関連事業者と連携するために KOBE エアポート環境推進協議会を開催した。